

2024 年度代表者懇談会議事録

日時： 2024 年 11 月 30 日 (土) 16:00～18:00

場所： ぼうさいの丘公園講義室 AB

出席者

加盟団体代表(敬称略)：

出席団体(代表)： アンリツ(厚海理事)、新厚木 TC(萩原)、スターTC(岡宮)、ソニー厚木(千田)、チャンス TC(高本)、T.O.P(久保)、日産テク(上田)、FATC(後藤)、宮の里 TC(高橋)、森の里 TC(中村)、日立厚木(川崎理事)、リコー(鈴木理事)、リハビリ(川瀬)、チェリー(荒木理事)、ネット、イン(栗原)、HLTC(國府田)、Good shot(禰津)、ナイスショット(今井)、厚木 HKF(中村)、チャレンジ(池田理事)、J テニスクラブ(渡部)、ハイファイブ(高橋) 以上 22 団体(敬称略)

欠席団体(代表)： NTT R&D(西村) 1 団体(敬称略)

理事(敬称略)：

出席理事： 橋本、和田、川端、鈴木、生方、茅根、橋本(厚)、大下、深瀬、大谷、稲村、北村、高村 以上 13 名(敬称略)

欠席理事： 木曾、榎本、宮里、鳥海、松谷、野原、小室、山下、西、利行 10 名(敬称略)

代表兼任理事： 厚海、川崎、鈴木、荒木、池田 5 名(敬称略)

1. 開会挨拶・出席者紹介

会長挨拶(橋本会長)

厚木市テニス協会は 2 年後に 50 周年を迎えるにあたり、記念事業の方向性や現在の協会運営上の課題について、加盟団体代表の皆様と意見交換を行いたい。

大会以外で顔を合わせる機会は少ないため、より良い運営に向けて積極的な意見を出していただければ幸いです。

加盟団体代表自己紹介:出席 22 団体(内 5 名は理事兼任)

・各団体から現状報告(チーム人数減少、世代交代困難、高齢化の進行、コート確保難、理事・役員不足など)がなされる。

・一部団体では記念行事(設立 40 周年等)を検討中だが、予算や運営面で苦慮しているとの声もあり。

協会理事紹介：出席理事 15 名

理事長、副理事長、事務局長、指導部、トーナメント部、IT 担当など計 29 名体制を報告。

テニス協会運営体制・現状課題共有

運営方針

厚木市テニス協会は、非営利・参加型運営を基本とし、エントリーフィーやボランティア運営で成り立つ組織。

スポーツ協会と連携し、市民テニスの発展に寄与することを目的とする。

現状課題

- ・加盟団体数・会員数の減少傾向と高齢化(ただし最近は団体数微増もあり)
- ・ジュニア選手・若手指導者の減少
- ・指導員・審判員の不足、新規育成が進まない
- ・IT環境(ホームページ・大会運営ソフト・エントリー手続き)の改善余地
- ・理事・役員のなり手不足と世代交代への懸念
- ・資金積立(周年事業関連)や運営資金確保の課題

2. 各部門の活動報告

(1) 指導部

活動内容:

スポーツ協会主催テニス教室への講師派遣(初級中級・ジュニア向け)、小学校・公民館イベントの指導協力(例:森の里小学校でのテニス体験実施)など。

指導者養成教室を毎年3回開催。ただし今年度公認指導員検定講習会は受験希望者がなく中止となった。

今後は指導者増員とレベルアップのため、加盟団体へ受験希望者の呼びかけをお願いする。

(2) トーナメント部

2024年度大会実績:

春・秋季実業団対抗戦、市民トーナメント、選手権大会、ジュニア選手権大会等を計画通り実施。

ジュニア参加数はやや増加傾向。来月より団体チャンピオン大会の予定。今年度の都市対抗選抜大会は中止。

来年度計画:

大会日程はほぼ前年踏襲。選抜大会(過去実施)については需要低下により今年度中止。今後は監督に委任する。

ポイントシステム見直し検討(初戦敗退ポイントの大幅減など)

チャンピオン大会要項や申込方法をホームページに集約し、簡略化を図る。

お願い事項:

大会に関する質問は、まず加盟団体代表者・所属理事への確認を優先。

トーナメント部へ問合せの際には個人から直接ではなく、代表者の方から連絡をしていただくよう周知徹底(返答の遅延防止)

団体新規登録締め切りの見直し検討(チャンピオン大会直前の新規登録増で事務負担過大のため)。

代表者からの意見・回答まとめ:

大会直前の団体登録をしてもらえると有難いと意見あり。

チャンピオン大会申込方法の質問に対して、団体代表者がまとめて申込しもらうということで統一をお願い。要項と申込書は HP に掲載、団体代表者には掲載時に連絡させていただくことを理解していただいた。

(3) 事務局

主な業務:

定例会議運営、会計・監査、加盟団体名簿・代表者名簿管理、年間コート確保調整(高体連・女子連・県協会との連絡調整含む)

スポーツ協会・県協会・市役所(スポーツ魅力創造課)との窓口対応(補助金申請、市主催行事への協力等)

一般からの問い合わせ窓口

- ・ 2025 年度エントリーフィー据え置き予定
- ・ ハイブリッド会議導入見送り：利用頻度・コスト考慮の結果、見合わせ。

(4) IT 担当

活動内容:

ホームページ管理・更新、要項・申込書掲載、メーリングリスト管理など。

将来は 50 周年記念の節目に合わせたサイトリニューアルや大会運営システムの刷新を計画。

3. 厚木市テニス協会 50 周年記念事業

現状:

2026 年に 50 周年を迎える。過去 10 年ごとの周年記念時には式典・記念誌発行・プロ招待イベントなど実施。

近年は財政状況や参加者ニーズ変化により、経費削減・記念誌の電子化・有名プロ招聘の見直しなど工夫。

他市事例:

横浜市：100周年時に大規模式典、プロ招聘

平塚市：60周年で式典・祝賀会

相模原市：50周年時はミックスダブルス大会開催、記念タオル配布など実施。

今後の方向性:

記念式典は実施予定(他市来賓招待想定)

記念事業内容はコンパクト化やIT化検討(記念誌PDF化、HPリニューアル、運営デジタル整備)

実行委員会発足し、2025年準備、2026年本格実施へ。各団体にアイデア・要望募集。

4. 加盟団体からの意見・要望

Q1 年間イベント一覧の見やすさ向上要望

回答：ホームページ「年間行事予定」ページで一覧化済み。更なる見やすさ改善も検討。

Q2 インボイス対応で領収書への税率記載要望

回答：必要な場合は個別対応。非営利団体のため基本不要だが、必要な場合は非課税摘要、税率0%等を但し書きで対応。

Q3 試合開始遅延・ウォークオーバー対応確認

回答：15分不在で失格は規定済み。疑問時は所属理事・代表者を通じて確認を。

Q4,Q6 年齢別ミックスダブルスへの年齢下限導入要望

問題点：極端な年齢差ペア(例：30代と70代)でレベル差・公平性懸念。

類例として横浜市は年齢別ミックスで男女双方に最低年齢条件を設定。

トーナメント部で年齢制限・カテゴリ(100歳・120歳に加え130歳新設など)検討。

決定前に団体へ意見をまとめたものを周知。

Q5 厚木市テニス選手権大会 混合ダブルスの運営費精算に関する質問

回答：事業終了後にまとめて清算が原則。都度精算は困難。

Q7 飯山コート活用提案

問題点：飯山コートはトイレ・更衣室未整備。仮設トイレのみで利便性低い。

回答：来年度は予備コートの的な位置づけで使用予定。今後市に改善要請。整備状況次第で利用検討。

Q8 チャンピオン大会のエントリー人数増加に関する要望

回答：チャンピオン大会のエントリー人数を増やす要望に対して、他の団体からの要望も踏まえ、検討し増やす方向で検討中（15名）。決定次第周知。

その他議論：

相模原市では市民無料の大会の例を紹介

加盟団体内での情報共有徹底を要請

飯山コートに関して特にトイレの整備については協会から強くお願いしてもらいたい

コート設備不具合(若宮コート等)について市へ改善働きかけ継続

高齢化、理事・指導者不足対策は引き続き全体の課題

代表者懇談会内容の共有は HP 掲載をお知らせ

5. 閉会挨拶

和田理事長より総括

本日は各団体から貴重な意見をいただいた。特に年齢別カテゴリや 50 周年記念事業、IT 活用、人材確保など課題は多く、今後も改善・検討を続ける。

協会運営は加盟団体の協力が不可欠。引き続き協力をお願いしたい。